



福祉公社は、武蔵野市が全国に先駆け、昭和 55 年に設立した在宅サービス提供機関です。

誌名「羅針盤」はご利用者を包括的に支援し、その人生と共に歩むサービスの基本姿勢を表したものです。

梅雨の季節です。例年、立春から135日目、太陽が黄経80度に達する6月11、12日が入梅とされています。

秋川渓谷では河鹿が清澄で豊かな声で鳴いていました。

その声は河鹿笛とも言われ、長雨の到来を人知れず告げているかのようです。高温多湿、時に梅雨寒もあり、体調を崩しやすい時季です。皆様にはご自愛ください。



<紙面から>

平成 30 年度理事長講話 ……1ページ

みどりのわカフェ 吉コレ 2018

権利擁護センター関係機関等連絡協議会 ……2ページ

事業報告会 北町高齢者センターオープンガーデン

デイサービス外食会 ……3ページ

お知らせ、リレーコラム ……4ページ

平成 30 年度 理事長講話 ～ 福祉公社が目指すものと求められる職員像 ～



福祉公社では、毎年、期首に理事長講話を実施しています。

最高責任者が考える法人運営を各職員が把握し、より良い市民サービスを提供するためです。

今年度は4月20日、高齢者総合センター5階ホールで開催されました。

テーマは「福祉公社が目指すものと求められる職員像」です。

設立以来、福祉公社は、契約による福祉サービスを創出し、その先進的発想により、既存の公的サービスを補充補完し、市の福祉総量の増大に取り組んできました。そして、すべての市民に安心できる老後生活を保障することを目指し、多種多様な事業を展開してきました。近年の自主事業として大きくクローズアップされるのが、成年後見事業です。

萱場理事長は、今後も、広く高齢市民のニーズを把握し、行政機関では果しえない、きめ細やかな相談や心理的支援を行うこと、介護保険事業者として他の事業者の模範となり続けること、市の指定管理者として他の事業者の追随を許さない質の高い効率的な施設運営を実施し続けていくことが必要であると強調しました。

そして、この実現のために望まれる三職員像が提示されました。

第一に、高い倫理観と福祉への情熱を持ち、市民から信頼される職員であることです。サービスの提供に当たっては、利用者の信頼と信託にこたえ、その生命、財産と生活の質を守る高い意識が求められます。事業面では、向上のための厳しい自己点検が不断に必要となります。

第二に、市民ニーズをとらえ、地域の課題を発見し、解決に結びつけることができる職員です。日々の業務遂行の取組みを全体で共有し、研鑽することが必要です。毎年実施している事業報告会はその一環としてあります。

第三に経営感覚を持つ職員です。福祉公社が存続し、市民福祉の一翼を担い続けるためには、各事業はもとより福祉公社全体としても、コスト意識を持たねばなりません。更に、収支について適切に評価しながら、自立度の高い法人運営を目指すことが必須です。

職員一同、この講話を肝に銘じ、心をひとつに業務に邁進する所存です。



家族介護教室 みどりのわ カフェ

「デイサービスを知る」をテーマに4月27日に開催しました。初参加の6名を含む12名がお越しくださいました。

高齢者総合センターデイサービスセンターの体操の様子を見学し、その後、介護予防体操を体験しました。

脳トレーニングも兼ねた体操で、手、足の動きをバラバラにする、歌を歌いながらの動きなど、どれも中々難しく、皆様は真剣な表情で取り組んでおられました。

その後の茶話会では、「体操は、いい運動だった」、「家族にデイサービスを利用させたいが、どうしたらよいか」などと、なごやかに語り合いました。

初めての方々も継続参加を希望され、会は盛況にてお開きとなりました。



吉祥寺コレクション 吉コレ 2018

武蔵野商工会議所主催のファッションショーが4月30日に開催されました。吉祥寺から自由で新しいファッションを発信するイベントです。今年のテーマは「吉コレ×〇〇(マルマル)」。17団体が参加し、萬吉祥(よろずきっしょう・素晴らしき多様性)のファッションが様々な形で表現されました。障害をお持ちの方とその介護者がモデルとなるグループも出演し、大きな拍手を浴びていました。

この会場となった吉祥寺駅北口の特設ステージのバリアフリー化、車いす用のスロープ設置に補助器具センターが協力しました。昨年までは相当重量がある電動車いすをスタッフが持ち上げていたそうです。

センターが高齢市民のみならず、まちおこしにも寄与でき大変嬉しく、新たな展開となりました。今後も継続してお力になります。



ステージ裏にスロープ設置



権利擁護センター関係機関等連絡協議会



福祉公社は昭和59年から包括的利用者支援の一環として財産保全サービスを開始し、高齢者の金銭管理・財産保管のノウハウを蓄積してきました。

成年後見制度が実施されてからは、推進機関として位置づけられ、福祉公社の法人後見の実績は全国有数です。武蔵野において、この分野の重責を担っていると云っても過言ではありません。

今年度第1回の権利擁護センター関係機関等連絡協議会を5月22日に開催しました。

同協議会は、弁護士・司法書士・行政書士・社会福祉士・NPO法人等成年後見受任機関及び行政関係機関で構成され、福祉公社は事務局を担っています。

協議会は、成年後見制度の利用を支援するため協議して受任者を選任し、後見人候補者を見出せない市民が円滑に制度を活用できるよう、取り計らいます。同時に、関係諸機関と連携して、適正、円滑な成年後見事業の運営を行うため、連絡調整、情報交換をします。これにより事業の公平性と透明性を確保します。

第1回会議では、各団体の活動状況の報告及び任意後見制度の事例検討が行われ、活発に意見が交換されました。

老いじたくと財産管理は密接不離の関係にあります。尊厳ある老後生活を送るために信頼に足る機関の財産管理サービスを利用することは、大変重要です。

今後も福祉公社は、より一層の成年後見制度の利用促進に注力し、市民の皆様が安心して生活を送ることが出来るように、活動してまいります。



チーム制導入の効果検証と今後の方向性と課題

介護人材の不足が問題となっています。2025年には全国で40万人が不足するとの予測です。市のアンケートでは介護職・看護職が継続して活動できる環境整備や人材確保の推進を多くの市民が求めています。ホームヘルプセンター武蔵野は、介護保険開始前から介護人材の育成と介護サービス提供のために設立されました。その点で他事業者の下支え、補充補完機能を果たすために、貴重な人的資源をより合理的、効率的に運用しなければなりません。そこで平成25年度に導入したサービス提供責任者業務のチーム制、26年度のシフト担当の導入を検証しました。

11人いるサービス提供責任者を2チームにし、各チームにリーダーを置きました。ご利用者1人に対して正・副担当を配置し、2名で情報を共有。リーダーがチーム内のサービス提供責任者の業務全体を把握します。それにより提供責任者の孤立を防ぎ、過度な業務負担をチェックします。シフト担当者はヘルパーの活動状況を整理し、ヘルパー派遣のフォロー等も可能になりました。加えて毎朝の全体ミーティング、連絡ノートを活用しました。これにより課題とされた情報共有と連携、緊急時の迅速な対応、的確な指示、ヘルパーへの個別研修方法の統一などが顕著に改善され、人的資源の活用、ケアスキルの向上に効果を上げています。

今後も、市民ニーズに応えるために、不断に、センターのあるべき姿、解決すべき課題の抽出、解決方法について検討し、サービスの向上を目指します。

北町高齢者センター オープンガーデン

センター開設以来30有余年に亘り、園芸ボランティアの皆様が、心を込めて中庭の手入れを下さっています。お蔭様で、四季折々、季節の花々が咲きほこり、ご利用者は、それを眺めて季節の風情を感じ、やすらぎを得ています。

ボランティアの皆様にはいつも感謝の気持ちで一杯です。

今年は荒天のため、オープンガーデンの開催が5月2日となりました。

連休の中日であるにもかかわらず、近隣の方々や子育てひろば・みずきっこの親子連れなど、62名がご来場下さいました。

中庭でのティータイムや紙粘土体験コーナー、ミニバザーなど、趣向を凝らしたブースを出し、皆様に楽しんで頂きました。



ご来場ありがとうございました。

なお、只今、園芸ボランティアを募集中です！

土に親しみ、丹精した庭がご利用者に癒しをもたらす意義深い活動です。

宜しく願い申し上げます。



高齢者総合センターデイサービス 新緑の季節 外食会

5月10日から4日間、恒例の外食会に行きました。新緑の街並みをドライブして第一ホテル「一寿司」へ。お店では、みなさん、少し“よそ行き”の顔で、会話をしています。そうこうするうちにお寿司ご膳が配膳されました。珍しいアナゴの酢の物はたいへん美味で、赤だしに身体がゆるみ、新鮮なお寿司が口の中で溶けて広がるようでした！とてもお上品な味で、「もっと食べたい！」と言う方も。

普段、看護師の食事介助を受けている方が、ご自分で完食されました。嬉しい驚きです。美味しいものをみんなで楽しんで食べることの大切さを感じました。ホテルの雰囲気やサービスに感動された方も多く、「来年も行きたい！」との声が多数ありました。帰路は吉祥寺駅周辺をドライブしながら新緑を楽しみました。ご利用者の一句をご披露します。

新緑の風さわやかに食事会 草心





公社からのお知らせ

老いじたく講座

～ 成年後見制度について ～



誰にでも訪れる老いに備え、元気なうちから準備して、尊厳ある老後生活を築きましょう。

日時 6月29日(金)13時30分から15時

場所 市民会館 第2学習室

～ エンディングノート 書き方講座 ～



想いを記すことは残された人々への指針

日時 7月13日(金)13時30分から15時

場所 福祉公社 1階会議室

問合せ 在宅サービス課 権利擁護センター
申込 ☎ 23-1165 参加費用は無料です。

ご寄附を有難く拝受しました。
匿名希望(遺贈) 30,805,240円

家族介護教室 みどりの輪



介護に関わる方、関心のある方、
どなたでもお気軽にご参加ください。

日時 6月22日(金)13時30分から15時

場所 高齢者総合センター1階ダイルーム

第一部 落語(武蔵野落語同好会)

第二部 懇談・情報交換

参加費 無料(お茶、お菓子代として100円)

問合せ 在宅介護・地域包括支援センター

申込 ☎ 51-1974

職員リレーコラム 第49回 《日々是感謝》

権利擁護センター 山保 龍太



平成28年4月に緑町の高齢者総合センター・在宅介護支援センターから北町にある本部の権利擁護センターに異動しました。本部から程近い所に武蔵野八幡宮があります。境内にはさまざまな草木が繁り、鳥居をくぐれば四季折々の風情を感じることができます。私は生まれも育ちも武蔵野なので、八幡宮は産土の神様です。入社前の参拝を始めて今年で3年目。時の流れはアツと言う間ですが、これからも日々、自己研鑽を怠らず、福祉サービス提供のスキルを磨き、感謝の気持ちを持って、皆様のお役に立てるよう努めたいと思っています。⇒ 次回は 権利擁護センター高岡真理

編集・発行 公益財団法人 武蔵野市福祉公社 次号は平成30年7月10日発行予定です



武蔵野市福祉公社

東京都武蔵野市吉祥寺北町1-9-1

バス停「武蔵野八幡宮前」下車 ☎0422-23-1165

(総務課 権利擁護センター ケアプランセンター)

☎0422-23-2611 (ホームヘルプセンター武蔵野)

武蔵野市立高齢者総合センター

東京都武蔵野市緑町2-4-1 バス停「武蔵野住宅」下車

☎0422-51-1975 (管理・社会活動センター)

☎0422-51-1974 (在宅介護・地域包括支援センター
・補助器具センター)

☎0422-51-2933 (デイサービスセンター)

武蔵野市立北町高齢者センター

東京都武蔵野市吉祥寺北町4-1-16

バス停「北町四丁目」から徒歩三分

☎0422-54-5300

業務時間 8:30~17:15 (全て共通)

福祉公社ホームページ

URL <http://www.fukushikosha.jp/>